

令和5年度 予算

水道事業会計には、収益的収支予算と資本的収支予算の2つがあり、どちらも税込み表示としています。また、()内の数値は前年度予算対比での増減率を表しています。

収益的収支(消費税込み)

水道水をつくり、ご家庭に届けるために必要な経費とその財源です。

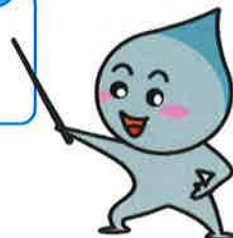
その他収入 1億2,336万円(3%減)	収支差引額 2億2,001万円
長期前受金戻入 2億7,034万円(8%減)	
加入負担金 1億3,879万円(4%減)	
水道料金 25億5,067万円 (0.2%減)	減価償却費等 10億1,179万円 (7%減)
	支払利息 7,308万円(9%減)
	人件費・施設管理費等 5億6,646万円 (6%増)
	送水費 1億5,792万円(15%増)
	受水費・浄水費 10億5,390万円 (4%増)
収益的収入 30億8,316万円(1%減)	収益的支出 28億6,315万円(1%増)

資本的収支(消費税込み)

水道施設の新設や改良をするために必要な経費とその財源です。

令和5年度の主な事業

- ・埋金浄水場耐震化事業
- ・配水施設整備事業
(老朽管更新等)



留保資金等
補てん財源

収支不足額 10億9,817万円 (3%減)	国庫補助金 792万円
	出資金 7,543万円(16%増)
	工事負担金 1,075万円(117%増)
	企業債 3億円(増減なし)
資本的収入 3億9,410万円(7%増)	資本的支出 14億9,227万円(0.3%減)

収益的収支の支出には、減価償却費のように現金支出を伴わないものがあり、これらは企業団内部に留保されます。資本的収支の収支不足額は、このような留保資金等で補てんされます。

収益的収支の収支差引額は消費税込みでの差引額です。消費税抜きでの差引額である純利益は、1億4,092万円を予定しています。

収益的収支における長期前受金戻入とは、固定資産の取得にあたり財源となった国庫補助金等のうち、当該年度の減価償却費に対応する額を収益化するものです。会計処理上の収益であり、外部からの現金収入はありません。

資本的収支では、令和5年度から令和8年度までの間に埋金浄水場耐震化事業を行う予定であり、財源の一部を国からの補助金等で賄う予定です。